

郵趣振興協会 活動報告（25）

2023 年度 第 1 Q

2023 年 3 月 18 日～2023 年 7 月 8 日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会（以下「当協会」と略す。）は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で正会員・賛助会員にお伝えすると共に、無料で掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

総会を開催、役員を選任

当協会は、2021年4月1日に就任した役員（理事・監事）の任期が2023年3月31日で終了したことを受けて、役員を選任を行うことを4月11日の理事会で決定しました。

これを受けて、4月12日に、第6、7期 正会員、賛助会員みなさまに、理事・監事への立候補をはかったところ、理事4名・監事1名の立候補がありましたので、6月27日に総会を開催し、議決権をもつ正会員の投票で全員が選任されました。

なお、総会翌日の6月28日に理事会を開催し、吉田敬を代表理事とすることに決定しました。

理事候補 菊地恵実 斎享 横山裕三 吉田敬

監事候補 守川環

第6期決算を承認

当協会の第6期（2022年度：2022/4/1-2023/3/31）決算がまとまり、6月27日の総会で議決権をもつ正会員の投票で承認されました。

活動計算書（商法上の法人における損益計算書に当たります）によれば、第6期の経常収益は1,788,307円、経常費用は1,756,808円で、単年度で見ると31,499円と僅かながら黒字となりました。

第6期は、郵博特別切手コレクション展および、全国切手展「スタンペックスジャパン」を継続して開催すると共に、COVID-19感染症の流行により中止していた「ジャパン・フィラテリスト・サミット」を3年ぶりに開催した為、事業費が増加しましたが、受取寄付金が20万円から74万円に大幅に増加し、これをカバーすることができました。

以上が概略となりますが、詳細の資料（総会に提出された会計資料）につきましては、本電子メールに添付するほか、監督機関である東京都庁に7月10日付で提出しており、後日都庁のホームページで公開されます。

第7期事業計画・予算を承認

6月27日に開催された総会には、第二号議案として、「当期事業計画並びに予算の承認」も議題として提出され、議決権を持つ正会員の投票で承認されました。第7期 経常収益 予算は、1,840,000円、同経常費用は、1,810,000円で、微増ですが第5、6期決算とほぼ同額です。

収益の面では、会員が増加することに加えて、第6期と同程度の寄付金が入り、事業も同程度にまわることを前提としていますが、3ヶ月経過した時点では順調に推移しております。

支出の面では、適切なボランティア評価費用を計上し、各事業にご協力くださる皆様に報いる事を継続します。全国切手展「スタンペックスジャパン」における外国人審査員の招聘により、旅費交通費の予算は増加しますが、同展覧会の開催意義に見合う費用であると共にこの取組を評価しての寄付金も大きく見込めることから、第7期も同様の取り組みを継続して参ります。

以上が概略となりますが、予算につきましては、本電子メールに添付します。

なお、事業計画については下記の通りであり予算とともに承認されました。

第7期 事業計画

全国切手展「スタンペックスジャパン」の運営が軌道にのったことから、第6期は、同催事に関する寄付・協賛が第5期よりも多く集まった。当協会に対する、協賛や寄付に関する、この流れは、第7期以降も継続する前提で事業計画及び予算を立案した。

また、クラウド展示、オンライン郵趣例会、WEBセミナーを支える、ビデオ会議サービスについて、過去の利用料を精査し、利用料金を減額しても、適切なサービスを支障なく提供する目処が立ったことから、第6期で減額した予算を今期も継続することとした。

なお第6期の新規活動に掲げながら、優先順位の観点で期中に実施することができなかった「世界の郵趣鑑定のあり方の調査」の取り組みについては、30年後の郵趣人口の確保の観点から依然として重要である為、第7期で検討することとした。

第5回 全国切手展「スタンペックス ジャパン2024」の開催を決定

第4回 全国切手展「スタンペックス ジャパン2023」が、3月27日に無事に閉幕したことを受けて、共催団体の（公財）通信文化協会と、来年の開催日程について、2024年3月30日ー4月1日に合意しましたので、ご報告申し上げます。

本年3月開催時の新たな取組である、(1) 外国人審査員の招聘および(2) 授賞式の開催（ジャパンフィラテリストサミット）を継続して行うほか、競争展出品者に対する幅広い情報提供を行っていきたく考えています。

出品募集要項は本年8月に発表予定ですが、それに先立ち、共催団体の通信文化協会から日本郵便株式会社に既に後援申請を行っています。当協会からも各団体に対して後援申請を7月中旬より行いたいと考えております。

なお、本年より、実行委員長は横山裕三（当協会理事）がとめます。

各種事業の進捗について

当協会は5つの事業「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クォーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビション事業

第4回全国切手展 スタンバックスジャパン2023 の開催

- 3/23 設営作業の実施
- 3/24 審査委員会による審査の実施
- 3/25-27 展覧会の開催
- 3/28 撤去作業の実施

ジャパンフィラテリストサミット2023 の開催 (3/25, 43名参加)

郵博 特別切手コレクション展 (2023年度) の開催。

6/10-6/11 第6回南方占領地のフィラテリー展 (博物館展示のみ)

リサーチ及び研究推進事業

講演講師の派遣

(6/3, 担当: 齋享理事。日本郵趣協会主催「第30回 JPS 東北郵趣大会 2023 in 山形」)

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

「世界の郵趣鑑定の在り方の調査」(準備中)

フィラテリックPR事業

情報発信を実施 (ブログ: 3-5月で11件。対前四半期 +10%。他に Twitter を実施)

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト (齋享リーダー) の活動の継続

(1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催

日本切手研究会	6回
外国切手研究会	3回
昭和切手研究会	3回
南方占領地切手コレクターズクラブ	3回

次世代育成事業

スタンペディアの「スタンプクラブ2023」の監修 (作業中)

総務ほか

理事会の開催 (4/11, 6/19, 6/28)

総会の開催 (6/27)

第6期決算報告について、東京都庁からの問い合わせに対する対応

日常的な経理業務、問合せ業務への対応

(報告者: 代表理事 吉田敬)